

# 教育長だより No. 23

2021年12月15日

## ちょっとうれしいお話

～ あるお母さんからの手紙 ～

先週、校長先生から「手紙」のコピーをいただきました。学校に匿名で届いたものです。ご紹介します。

〇〇小学校 校長先生

日頃は子どもたちの教育にご尽力ありがとうございます。

私は〇〇学区に住む2児の母です。(注：野洲市内)

先日、近江八幡運動公園内にある遊具で子ども(3才、1才)を遊ばせていた時のことです。2人の男の子(兄弟さん?)がとても親切にしてくれました。階段を上がるときに、真後ろに立ち、落ちてきても支えられるように手を添えてくれたり、大きなすべり台を手をつないですべってくれたり、小さい子に合わせて笑ってくれたり……。普段小さい子を連れていくと、「早く行ってー」と階段で後ろから急(せ)かされたり、遊具で走り回る小学生にヒヤヒヤしたり、肩身のせまい思いをすることも少なくありませんが、この時は私たち夫婦も子どもたちも、とても温かい気持ちで過ごすことができました。

しっかりした男の子たちだったので、おいくつかな?と気になり、たずねたところ、「〇〇小の2年〇組です!」と教えてくれました。我が子たちも数年後に入学する〇〇小学校!こんなに優しいお兄さんがおられることがわかり、安心です。嬉しくて思わず手紙を書かせていただきました。

先生方が毎日子どもたちに寄り添い、丁寧にご指導してくださっているおかげです。大変なお仕事だとは思いますが、これからも子どもたちのために頑張ってください。

乱筆 乱文 お許してください。

また、中学校へは、高齢の方からこんな電話がかかってきました。

生徒さんにお礼が言いたくて電話しました。実は、私、朝、歩いていて、急に気分が悪くなったんです。そこにたまたま通りかかった中学校の生徒さんが、わざわざ自転車止めて、心配して声をかけてくれました。「大丈夫ですか?」と。私、その時はしんどくてしっかり返事ができず、「大丈夫」とだけ言うたんです。けど、あとから「お礼を言うとかべきやった。」と思って……。でも、名前も聞いてないし、だれかわかりません。私、今朝のことがうれしくて、今になってですけど、そんなやさしい生徒さんがこの学校におられるんやから、先生にだけは伝えようと思って電話かけてます。ありがとうございました。

さらに、小学校の先生から中学校へも、「うれしい電話」です。

校長先生、ぜひお伝えしたいことがあって電話しました。実は、今朝、うちの小学生が登校中に「しんどい。」と言って座り込んでいたんです。すると、そこを通りかかった中学生が「どうもなにか?」と声をかけて、その子と一緒に小学校まで歩いて来てくれました。学校遅れるのに、わざわざ歩いて送り届けてくれたんです。私、うれしくて、こうやって電話しています。

他にもあります。中学生が登校途中、溝に脱輪した車がありました。次々来る中学生に呼び掛けて、数人で車を引き揚げたそうです。残念ながら、こういう話は「埋もれている」ことが多いです。

**学校・園の現場は、こうした子どもたちの温かいかわい=「ぬくもり」を共有することで元気になります。また、紹介します。みなさんの「ちょっといい話」を待っています。**